



令和4年9月1日
第十管区海上保安本部

『十管区設立時からの海図変遷や写真を展示します』

～ 水路記念日パネル展 ～

今年は第十管区海上保安本部設立60年の節目の年であり、水路記念日※にあわせ、鹿児島市立科学館及び山形屋において、十管区設立当初から現在までの鹿児島港の海図の変遷や十管区設立時の貴重な写真などを紹介するパネル展を開催します。

1. 開催日時・場所

(1) 令和4年9月 8日(木)～9月12日(月) 午前9時30分～午後6時
鹿児島市立科学館 2階エントランスホール(無料)

所在地: 鹿児島市鴨池2丁目31-18 電話: 099-250-8511

(2) 令和4年9月21日(水)～9月27日(火) 午前10時～午後7時

(最終日は午後4時まで)

山形屋 2号館3号館連絡通路

所在地: 鹿児島市金生町3-1 電話: 099-227-6111

2. 展示物(別紙 参照)

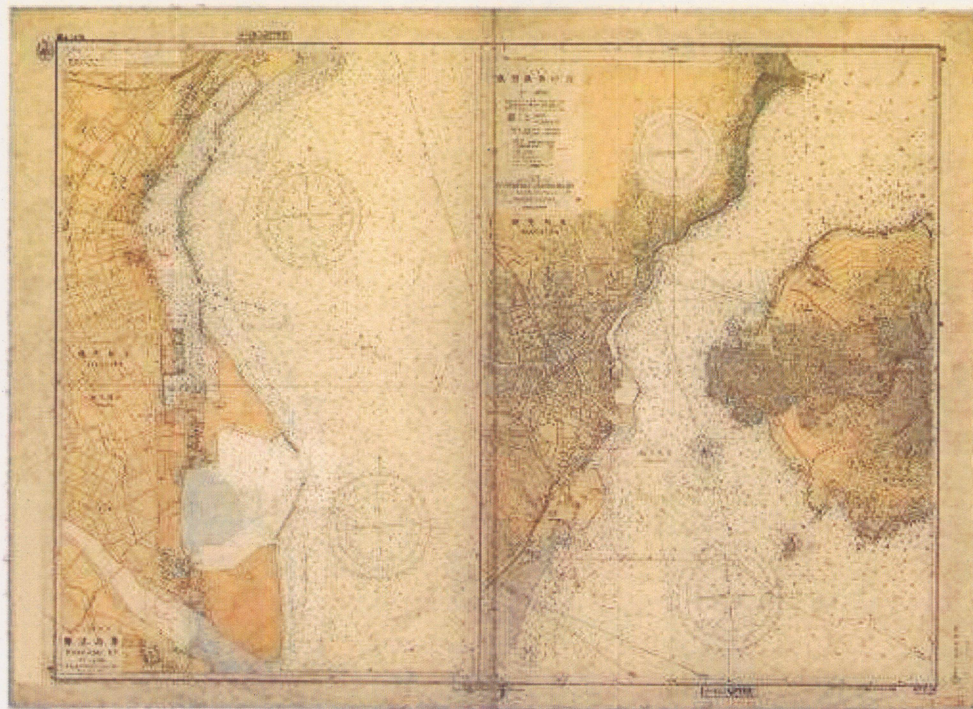
- (1) 昭和37年からの鹿児島港の海図による変遷
- (2) 十管区設立時からの貴重な写真など

3. その他

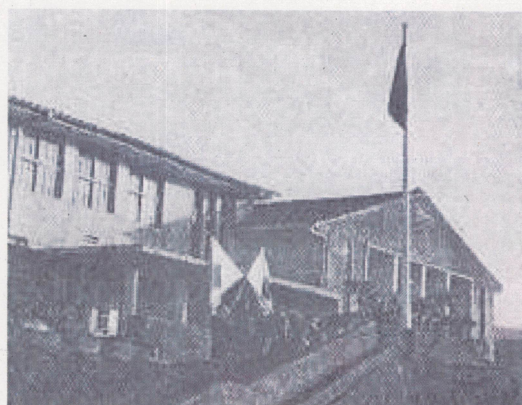
鹿児島市立科学館でのパネル展示(9月8日から12日の午前10時30分～午後4時)は、十管本部職員が展示物の説明を行うほか、十管区60周年記念動画を放映します。

展示物の一例

昭和37年の鹿児島港の海図



十管区設立時の写真



旧庁舎

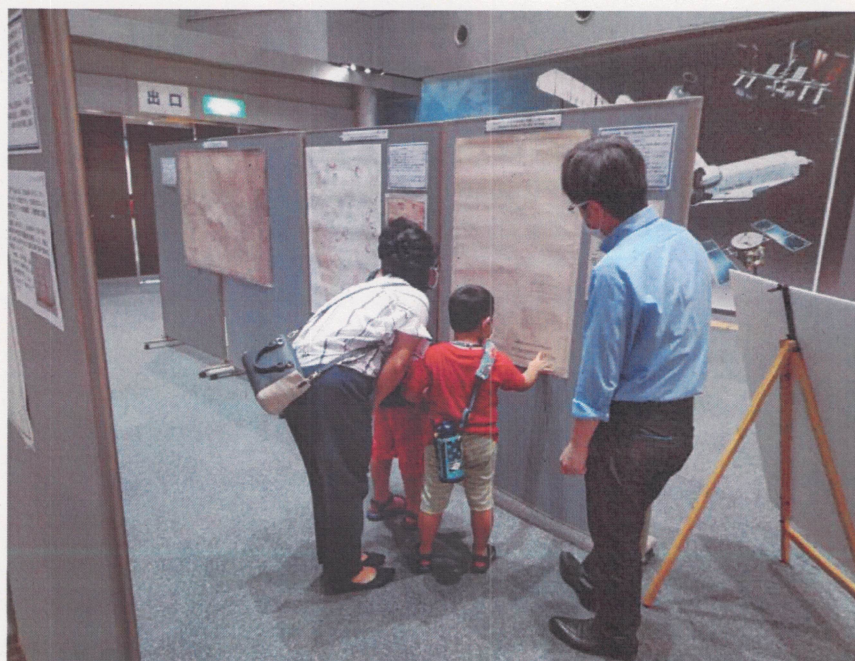


鹿児島航空基地

山形屋でのパネル展の様子（令和3年9月）



鹿児島市立科学館でのパネル展の様子（令和2年9月）



※「水路記念日」について

海上保安庁では、9月12日を海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局の設立を記念した水路記念日としております。

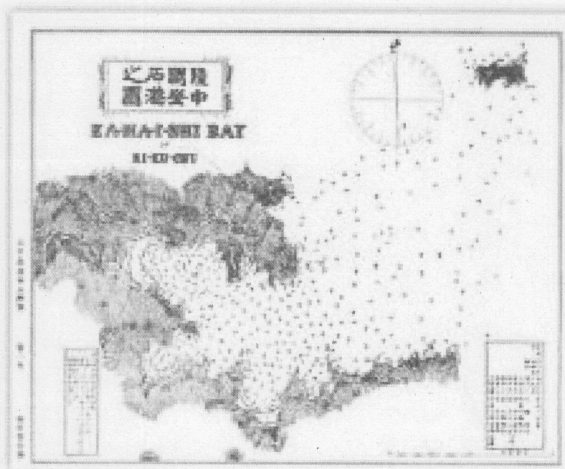
明治初期、諸外国が海図を作製し、我が国周辺海域の水深を明らかにしていく事態に、国防のみならず海運・通商の見地からも、自ら測量して海図を作製することが重要課題となっておりました。

そのため、我が国独自で海図を作製するために、明治4年に設立されたのが、兵部省海軍部水路局で、今年で151年目の水路記念日を迎えました。

- 1871年（明治4年） 兵部省海軍部水路局として発足
- 1872年（明治5年） 海図第1号「釜石港（陸中國釜石港之圖）」刊行
- 1948年（昭和23年） 海上保安庁創設により海上保安庁水路局となる
- 1949年（昭和24年） 海上保安庁水路部に改編
- 2002年（平成14年） 海上保安庁海洋情報部に改編
- 2021年（令和3年） 150周年記念行事開催



初代水路局長・水路部長
柳 樽悦（やなぎ ならよし）
（1832-1891）



我が国第一号海図

りくちゅうのくにかまいしこうのず
「陸中國釜石港之圖」

明治5年9月（1872年）刊行